

10:00 - 10:50 <研究室紹介ページ一覧は[コチラ](#)>

研究室	紹介文・企画詳細
<p>イスラム学</p>	<p>当日はイスラム学研究室とイスラム研究について紹介します。                      イスラム学研究室の詳細については、研究室ホームページ                      (<a href="https://www.l.u-tokyo.ac.jp/Islam/">https://www.l.u-tokyo.ac.jp/Islam/</a>) をご参照ください。</p>
<p>東洋史学</p>	<p>東洋史学研究室は、アジア大陸・島嶼部の広範な地域の歴史について探究することをめざしています。オープンキャンパス当日は、教員・助教・学生が、その研究の一端について御紹介するつもりです。                      なお、次のようなサイトを設けているので、ご覧ください。  <a href="https://www.l.u-tokyo.ac.jp/~toyoshi/">https://www.l.u-tokyo.ac.jp/~toyoshi/</a></p>
<p>考古学</p>	<p>考古学研究室については、研究室ホームページをご覧ください。  <a href="https://www.l.u-tokyo.ac.jp/archaeology/">https://www.l.u-tokyo.ac.jp/archaeology/</a></p>
<p>言語学</p>	<p>世界には 7000 を越える言語が存在すると言われ、それぞれ多様な構造をもっていると同時に、驚くべき共通点ももっています。言語学研究室では、認知言語学と呼ばれる理論的研究、フィールドワークに基づく記述的研究、言語の変化を探求する歴史的研究、言語特徴を広く対照する類型論的研究など様々なアプローチを用いて、言語の実証的研究を行っています。詳しくは研究室のウェブサイト(<a href="http://gengo.l.u-tokyo.ac.jp/">http://gengo.l.u-tokyo.ac.jp/</a>)をご覧ください。オープンキャンパス当日は言語の多様性と普遍性の一端を紹介しながら、言語学および言語学研究室の紹介をしたいと思います。みなさんの参加をお待ちしております。</p>
<p>国語</p>	<p>国語研究室では、日本語学（国語学）の研究を行っています。                      日本語学は、現代日本語のしくみ、さらに日本語の歴史や多様性を研究する学問領域です。                      今回のオンライン研究室訪問では、研究や教育の内容、国語研究室の行事などについて紹介します。                      国語研究室については下のウェブサイトをご覧ください。  <a href="https://kokugo.l.u-tokyo.ac.jp">https://kokugo.l.u-tokyo.ac.jp</a></p>
<p>国文学</p>	<p>国文学研究室には、時代や専門の異なる 6 名の教員がいます。上代・中古・中世・近世・近代の各時代の専門家と、専門に限らない古典文学の専門家です。作品の原資料である写本や版本に向き合うところから、作品分析や文化研究まで、多様な研究に触れられます。日本文学に興味がある方、国語が好きな方、読書が好きな方など、どなたでも歓迎いたします。当日お目にかかれますのを楽しみにしております。</p>

<p><b>中国語中国文学</b></p>	<p>当日は中国語中国文学研究室の紹介を行います。教員からの説明のほか、学生からも研究室での活動も含めた大学生活についてお話しいたします。中国語中国文学研究室については、研究室ホームページ (<a href="https://www.l.u-tokyo.ac.jp/chubun/">https://www.l.u-tokyo.ac.jp/chubun/</a>) をご覧ください。</p>
<p><b>インド語インド文学</b></p>	<p>インド語インド文学研究室では、サンスクリット語を中心とするインドの言語と、古代から中世のインドの文献を研究しています。『マハーバーラタ』などの文学作品はもちろん、サンスクリット語で書かれた法律・歴史・医学・建築・数学などの諸科学文献もひろく「インド文学」として扱います。当日はインド語学文学の一端をご紹介します。研究室の詳細については当研究室ホームページ (<a href="https://www.l.u-tokyo.ac.jp/indlit/">https://www.l.u-tokyo.ac.jp/indlit/</a>) をご参照ください。</p>
<p><b>イタリア語イタリア文学</b></p>	<p>所属教員2名（土肥秀行とロレンツォ・アマート）でみなさんをお迎えします。お気軽にどうぞ。</p>
<p><b>現代文芸論</b></p>	<p>現代文芸論は、世界の文学を、日本文学も世界文学の一部として視野に入れながら、現代的な観点から研究する研究室です。翻訳研究、越境的な文学など、様々な文学を研究対象とします。当日は、授業内容や教員の研究の一部などをご紹介します。</p> <p>詳細は研究室ホームページ (<a href="https://www.l.u-tokyo.ac.jp/genbun/%20">https://www.l.u-tokyo.ac.jp/genbun/%20</a>) をご覧ください。</p>
<p><b>社会学</b></p>	<p>"社会学研究室については、ホームページをご覧ください。  <a href="https://www.l.u-tokyo.ac.jp/sociology/">https://www.l.u-tokyo.ac.jp/sociology/</a>  当日は、教員による説明の他、在学生も加わった質疑応答の時間を設けます。"</p>